

一般財団法人まちと人と

第六期事業計画書

期間：2026 年4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

【1】はじめに

■ 第五期の振り返り

- ・第5期までの実践を通じて、高校生の行動変容や地域社会からの反響など確かな成果を得ることができました。
- ・一方で、既存のスタッフ稼働工数に依存する労働集約型の事業モデルのままでは、支援を必要とするすべての高校生へアプローチすることに限界が生じています。
- ・第6期は、これまでの延長線上から次なるフェーズへと進化させる転換期と位置づけ、プログラムの全体改善による参加ハードルの低下と、運営フローの最適化や外部連携を含めた「持続可能な運営体制への再構築」に取り組みます。

【2】第六期 意識する取組と目標設定について

第6期では、「高校生の多様な挑戦の入り口の創出」と「持続可能な運営体制への再構築」を柱に、以下の取組を推進します。

取組1. プログラムの改善（受益者数と活動の質の向上）

- ・新規参加や継続を促す仕掛けを導入し心理的な参加ハードルを下げて参加者の裾野を広げる。
- ・各プログラムの内容をブラッシュアップし、活動の質の向上や継続的な挑戦を後押しする。

取組2. 運営体制の再構築（参加者の多様性と持続性の拡大）

- ・スタッフの工数を増やさずに成果を最大化できるよう、ICT活用による運営フローの最適化やシステムの導入を行う。
- ・地域資源（大学生、地域の大人、事業所など）と連携した持続可能な支援モデルを構築する。
- ・学校外支援等の手掛ける地域団体との連携により、不登校の学生を含む多様な高校生が参加できる体制を整える。

取組3. 持続可能な財務基盤と組織基盤の強化

- ・事務局機能を担うポジションを任用し、事業担当者が実施事業に集中できる環境をつくる。
- ・寄付者データベースの管理やマンスリーサポーター制度の運用実務を推進し、個人・法人からの寄付獲得を強化する。
- ・東日本大震災復興支援の枠組みから脱却し、全国的な教育・地域振興をテーマとした新規助成金の獲得へシフトします。

取組4. スタッフ・インターンの学びと主体性強化

- ・スタッフとインターンを対象とした研修・対話プログラムを年2回以上実施する。
- ・「主体的に参画する組織文化」を醸成し、メンバーが提案・企画を実行できる仕組みを整える。

取組5. 広報強化

- ・法人の活動や成果を外部に発信する広報戦略を検討し計画を立てる
(目標設定案) ・月1回のメールマガジンの発行
- ・PRTIMESの投稿 年20回以上 等

【3】第五期 実施予定事業

NO	事業名	プログラム	対象	財源
1	学生への キャリア 教育事業	①高校の総合的な探究の時間授業サポート ・石巻市立桜坂高等学校 ・宮城県西高等学校 ・宮城県石巻高等学校 を予定	高校生	石巻市教育委員会 宮城県教育委員会
		②キャリア教育授業「ミライブラリー」 ・宮城県大河原修行高等学校 ・宮城県蔵王高等学校 を予定	高校生 若手社会人	宮城県大河原 地方振興事務所
2	学生への 研修プログラムの企画 (自主事業)	③自分の好きを見つけるボランティアの コーディネート「まきボラ」 ※昨年行っていた実践型インターン プログラム「DIVE!」も「まきボラ」に 統合予定	高校生	ハタチ基金 地域おこし協力隊 隊員活動 他
		④ 高校生の「企む」「挑む」「楽しむ」を 応援するプログラム「ムムム!」	中学生 高校生	ハタチ基金 他
		⑤ 中高生の「なんとなく」から 感性を育む「Feel度Walk」	中学生 高校生	積水ハウス マッチングプロ グラム 地域おこし協力隊 隊員活動 他 他
3	人材の職業 適性能力の 開発のため の研修実施 ・コーデ ィ ネット	⑥ 地域おこし協力隊受入支援業務 ※ISHINOMAKI2.0との共同事業体で委託	移住者	石巻市復興企画部 SDGs移住定住推進課

実施事業詳細

一般財団法人まちと人と

① 総合的な探究の時間授業サポート

桜坂高校	石巻唯一の市立高校である桜坂高校にて、総合的な探究の時間「桜坂タイム」の授業企画案作成及び授業実施と地域コーディネートによるサポート業務を行う。一昨年度より新学習指導要領となり、より探究的な学びに力を入れていく予定である。 <主な支援活動> ・1学年：ミライブラリー（探究授業型ヘシフト） ・2学年：個人探究支援（個別相談対応）、夏休み課外活動コーディネート
石巻西高校	石巻西高校の総合的な探究の時間の授業サポート。一昨年度までは文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定校予算で実施し、独自予算によるサポート事業を受託。 <主な支援活動> ・1学年：街ライブラリー、街ミッション（3日間の課題解決型フィールドワーク） ・2学年：地域フィールドワークのサポート、地域の事業所紹介

② キャリア教育授業「ミライブラリー」

大河原商業高校 蔵王高校	大河原地方振興事務所が企画運営する、キャリア教育授業をミライブラリーのパッケージ提供にて支援する。実施校は2校でどちらも1学年に向けて提供。 「ミライブラリー」は高校生が地元地域で働く若手社会人の先輩と対話することで、「生きること」や「働く事」、「地元地域」について考える機会をつくる事業。高校生への事前授業や振り返り、参加する社会人向けに事前研修も行う。
-----------------	--

③ 自分の好きを見つけるボランティアのコーディネート「まきボラ」

高校生が、自ら興味を持った地域の団体や企業を選び、授業外での自発的なボランティア参加(単なるお手伝いで終わらない成長につながる活動)ができるプログラムを実施する。高校生の「やってみたい」を尊重できる環境を作る。

第五期では参加高校生をサポートするインターン生の質と量をあげるために広報や研修にも注力する。

<参加高校生数実施プログラム数目標>

- ・高校生参加 120人
- ・実施プログラム数 30件以上

④ 高校生の「企む」「挑む」「楽しむ」を応援するプログラム「ムムム！」

石巻の中高生が、自らの「やってみたい」をもとに地域へ飛び出し、挑戦を行うプログラムを実施する。単なる体験やお手伝いにとどまらず、地域の人や魅力との出会いを通じて、行動力や創造性を育み、自分自身の可能性を広げることを目指す。また、プログラムを円滑に運営するため、ユースセンター機能を活かし、インターン生やスタッフによる伴走支援や広報活動、研修にも注力する。

<参加中高生数・実施プログラム数目標>

- ・中高生参加 20人
- ・実施回数 10回以上

⑤ 中高生の「なんとなく」から感性を育む「Feel度Walk」

石巻地域の中高生を対象に、自分の「興味関心・好き・自分らしさ」を見つけるきっかけづくりとして、「Feel度Walk」および「知図」作成のワークショップを学校の授業（総合的な学習・探究の時間）等を利用して実施する。誰もが持っている「なんとなくセンサー」を働かせてあてもなく歩き回り、偶然気になった対象の写真を撮り、それをよく観察して「知図」として書き残すプログラムである。描いた知図を他者と共有し対話することで、観察力や表現力、コミュニケーション力を育み、中高生の自己効力感の向上や地域への関心を高めることを目指す。

今年度は、各校で生み出された「知図」を年度末に地域内の複数会場で合同展示し、地域の大人たちも中高生の感性とともに「面白い」機会をつくることにも注力する。

<参加中高生数・実施校数目標>

- ・中高生参加 約500人
- ・実施校数 中高5校

⑥ 地域おこし協力隊受入支援業務 ※ISHINOMAKI2.0との共同事業体で委託

地域おこし協力隊が安心して活動できるように、受入事業者とのマッチングや活動中のサポート、さらに任期後の定住・定着に向けた環境づくりを進めるプログラムを実施する。協力隊の募集やインターン制度の運営、相談窓口の設置、報告会の開催、起業や事業継承に役立つ研修の実施を通して、若者が地域に根づき挑戦できる土台を整える。

理事の三上が隊員の面談や個別ケアを担ない、法人としては研修を中心に隊員のサポートを行う。

<目標>

- ・協力隊員数：最大20名規模での活動受入
- ・定例会及び研修の実施：毎月1回